

都市再生整備計画

た ど つ えきしゅうへん
多度津駅周辺地区

香川県 た ど つ ちょう
多度津町

平成30年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	香川県	市町村名	たどつちよう 多度津町	地区名	たどつちえきしゅうへん 多度津駅周辺地区	面積	21 ha
計画期間	平成	30	年度	～	平成	34	年度
				交付期間	平成	30	年度
					平成	34	年度

目標

大目標 多世代が行き交い、活力と交流、にぎわいを生み出す拠点づくり

- 目標1 駅周辺地区のにぎわい創出に資する受け皿づくり
- 目標2 駅利用者の利便性の向上、南北回遊性の向上
- 目標3 駅周辺地区の良好な交通・住環境整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

多度津町は、香川県の中部に位置し、南は讃岐平野、北は風光明媚な瀬戸内海国立公園に接している人口約23,000人、面積約24km²の町である。町の中心部に位置するJR多度津駅は、予讃線、土讃線の分岐駅であり、四国鉄道の始まりの地とされ、交通文化の中心地として栄え、今日でも重要な役割を担っている。古くは、金毘羅参詣の玄関口の一つとしての港町として栄え、四国の交通の要衝でもあり、臨海工業団地を中心に多くの企業が立地している。

現在、多度津駅周辺では、北西側が浸水想定区域ということ、現多度津町庁舎や駅跨線橋などの公共施設の老朽化、中心市街地の活力低下といった諸問題を解決するため、持続可能でコンパクトなまちづくりの必要性から、都市機能の誘導により、駅周辺地区を交流、にぎわいの拠点として活性化を進めていこうという機運が高まっている。

本地区では、現在事業中の跨線橋の架け替えによる安全性、利便性の向上や、同じく検討が進められている庁舎の移転を契機とした駅周辺地区の活性化やにぎわい拠点化を目指していく中、新設跨線橋による新たな人・自転車・車両の動線に対応するため、また、行政機能や商業機能を中心とした将来的なにぎわい拠点における流入・交流人口の増加に対応するため、さらには南北駅前広場などの滞留空間の整備や、交通手段の多様化や増加に対応するための、周辺交通網の整序や必要に応じて道路機能の向上、良好な住環境の確保を図っていくこととしている。

課題

- ・駅周辺地区のにぎわい創出を図るうえで、多様な交通主体が行き交う空間としての受け皿作りが求められている。
- ・跨線橋の架け替えに伴い、駅利用者や跨線橋横断者のための利便性向上・回遊性向上を図るため、滞留空間の確保やバリアフリー設備の充実が求められている。
- ・都市機能集約後に生じる、自動車交通量の増加や、歩行者の増加に伴う安全性の向上を図るため、駅周辺の良好な交通環境・住環境の確保が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- ・多度津町第6次総合計画では、「ひと・くらし・歴史が共生するまち たどつ」を将来像に掲げ、「生活者視点の暮らしやすいまちづくり」「安全・安心で美しいまちづくり」「活気にあふれた魅力的なまちづくり」を目標としている。
- ・多度津町都市計画マスタープランでは、都市の将来像として「せせらぎと歴史が育むゆとりとるおいの循環型都市」掲げるとともに、まちづくりの基本目標として、「多世代が行き交うるおいのある定住環境づくり」「活力と交流と安心を生み出す交通基盤づくり」「先人の足跡と水と緑が瞬く都市空間づくり」「知恵と個性に満ちたまちづくり」掲げている。また、JR多度津駅周辺を、行政サービスが一体的に享受でき、少子高齢化に対応した多世代の学びや交流の拠点として、機能の充実や質の向上を目指し、南側の駅前広場、駐輪場、公園など駅周辺の環境整備、利便性の高い魅力的な街づくりとあわせて一体的な街づくりを目指すこととしている。
- ・現在策定中の立地適正化計画では、多度津町の中心拠点としての役割を担うべく取り組みを実施し、都市機能の集約を図ることとする予定である。

本地区では、これらの上位計画を踏まえ、都市機能の集約やにぎわい・交流の拠点として、多度津町の重要なまちづくりの核となるべく、ハード・ソフトあわせ様々な取り組みを行っていく予定であり、将来にわたって、多度津町を牽引する中心拠点としての整備を目指している。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
駅乗降客数	人/日	多度津駅の乗降客数	アクセス機能の向上を図ることで、乗降客数の現状維持を図る。	4,204	平成28年度	4,200	平成34年度
南北横断者数	人/日	JR線の南北を横断する地区の地下通路、跨線橋、新設跨線橋(自由通路)における歩行者・自転車利用者数	跨線橋の架け替えとあわせて、駐輪場や歩行空間(駅前広場)を整備することで利用者数の現状維持を図る。	1,593	平成29年度	1,600	平成34年度
居住人口	人	栄町三丁目、幸町、桜川二丁目、寿町の人口(住民基本台帳)	周辺交通環境を確保し、利便性の高い地域となることで、駅周辺居住人口の維持を図る。	1,075	平成29年度	1,050	平成34年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1【駅周辺地区のにぎわい創出に資する受け皿づくり】 多度津町の中心拠点の活性化や都市機能の集積によるにぎわい創出を図るうえで必要となる、多様な交通モードの処理機能を向上させるとともに、人々が行き交う広場機能や環境空間を確保する。</p>	<p>【基幹事業】 地域生活基盤施設：北口駅前広場、南口駅前広場</p>
<p>整備方針2【駅利用者の利便性の向上、南北回遊性の向上】 跨線橋(自由通路)が新たに設置されたことで、南側から北側の駅改札口へ向かう人の流れ、南北双方を行き交う人の流れが新たに発生する。そのため、南口では駅利用者の利便性を考慮し、跨線橋乗降口における滞留空間の確保や、南北の回遊性や安全性の向上を図る。</p>	<p>【基幹事業】 地域生活基盤施設：北口駅前広場、南口駅前広場、駐輪場 高質空間形成施設：自由通路(EV設置)</p>
<p>整備方針3【駅周辺地区の良好な交通・住環境整備】 庁舎の移転や、今後の駅前広場の整備に伴い、南口は自動車や歩行者の通行量が増えることが予想されるため、周辺地区の良好な交通環境や住環境を確保する。</p>	<p>【基幹事業】 道路：町道新設、町道206号線、町道255号線</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

多度津駅周辺地区(香川県多度津町)

面積

21 ha

区域

幸町、寿町、栄町三丁目、桜川二丁目の一部

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

